

いのちの言の葉2013

富山県教育委員会平成25年度いのちの教育総合支援事業

「二つとない わたしのいのち『いのちの教室』」

富山市立新庄小学校

平成26年2月4日実施

【授業の概要】

- 1, いのちのルーツについて
- 2, お母さんのお腹での赤ちゃんの成長について
- 3, 心音の聞き比べ
- 4, 出産について

【いのちの先生】

中山 泰子先生

・助産師

(お母さんへ)

うむ時に、いたい思いをしてうんでくださってありがとうございました。私は生まれた時、「オギャー」と言わなくて、とっても心配をかけたんだね。お母さんからさずかった命を大切にすね。



(お母さんより)

お母さんのおなかの中で、とても元気だった○○。生まれてきた時、声を出さず、とても心配でしたが、すぐに大きな声でないたので、ホッとしました。○○は大切な宝物です。命は一つしかありません。これから、つらいことや悲しいことがおこるかもしれませんが、お母さんがそばにいます。命を大切に。友達の命も大切です。忘れずに。



(お母さんへ)

「いのちの教室」の話を聞きました。ぼくは、お母さんの卵子とお父さんのせい子が合体して受せい卵になったのが、ぼくのうまれたきっかけになったことを、はじめて知りました。あとDVDで、女の人がくるしそうに赤ちゃんをうむのを見て、きっとお母さんもくるしみながら、ぼくをうんでくれたので、お母さんにかんしゃしたいです。お母さん、ぼくをうんでくれてありがとう。



(お母さんより)

いのちの勉強をしたと聞いて、○○が生まれた頃を思い出しました。あんな小さかったのに、ここまで大きく成長してくれたと思うと、おどろきと感しゃの気持ちでいっぱいです。こちらこそ、ありがとう。○○にとって、私たち家族にとって、○○に関わる全ての人たちにとって、とても大切な命です。好きなことをみつけて、もっともっと大きく成長してほしいと思います。